

令和元年度 学校自己評価書

A：よくあてはまる B：概ねあてはまる C：あまりあてはまらない D：全くあてはまらない					
質 問 事 項		A	B	C	D
I 学校運営に関するもの					
1	【安心安全な学び】 2.66 ①安全教育の推進 (交通安全教室、各科安全教育など) ②環境整備の推進 (花壇整備、私用ゴミ持ち帰りなど) ③健康の保持増進 (保健だより発行、研修会開催など) ④危機意識の高揚 (シェイクアウトへの参加など) ⑤安心・安全な教育環境の推進 (実習室の整理整頓など)		○		
2	【学力の向上】 2.79 ①基礎学力の定着 (授業の充実、宅習ノートの提出など) ②授業力の向上 (研究授業週間への取組など) ③ものづくり教育の推進 (測量競技全国3位など) ④進路指導の充実 (企業説明会、小論文指導など) ⑤キャリア教育の推進 (地元企業との連携、インターンシップなど) ⑥資格取得の推進 (朝課外指導、部活動との両立推進など)		○		
3	【心と体を鍛える】 3.03 ①基本的な生活習慣の確立 (挨拶や正しい服装の指導など) ②人権尊重の推進 (研修会の実施、クラス面談実施など) ③部活動及び生徒会活動の充実 (少林寺拳法部 全国優勝、全員部活動、文化祭の成功など) ④読書活動の充実 (朝の読書の充実、図書室の充実など) ⑤主権者教育の推進 (生徒会選挙の模擬投票など) ⑥奉仕活動の推進 (部活動生による清掃活動など)		○		
4	【信頼される学校】 2.83 ①広報活動の充実 (都工新聞、HPの充実など) ②受検生の確保 (学校説明会、中学校への出前授業など) ③家庭との連携 (家庭訪問、PTA新聞など) ④地域との連携 (インターンシップ、各部活動など) ⑤コンプライアンス (研修会など) ⑥人材の育成 (校外研修会、日々の職員室内など) ⑦働きやすく働きがいのある職場づくり (アンケート実施、リフレッシュデーの設定など)		○		
<p>学校経営方針「社会の変化に即応しながら工業教育を実践する学校」「生徒一人一人の個性を生かす教育を実践する学校」「郷土並びに社会に貢献できる心身共に健全な生徒を育成する学校」とし、スローガン「生徒一人一人が育ち、輝き、誇りをもつ都工」の下に、上記4つの項目を重点的に取り組んできた。</p> <p>【安心安全な学び】 交通事故28件、重大事故には至っていないが、車との接触は重体事故につながることを常に認識して生徒への注意を呼び掛けている。事故状況は1学期の発生が多く、信号機のない交差点や左折もしくは右折時に車と自転車による接触事故が多く昨年より7件増えている。 施設面では、全職員による安全点検を行い、不備な箇所について計画的に整備をしている。また、今年度はガラスの破損が10件発生した。昨年度より8件少ないが、0になるまで生徒の行動面等について粘り強く指導していきたい。</p>					

【学力の向上】

教員の授業力向上に努め、6月と11月に研究授業を行った。事後研修会において、教科学科の枠を超えて、授業について協議することが更なる教員のスキルアップにつながった。そのほか生徒の時間管理能力の育成を目指した取組としてノーチャイムデーを3学期に試行した。来年度に向けて本格的実施をしたい。

資格取得においてジュニアマイスターゴールド26名、ジュニアマイスターシルバー24名であった。昨年と比較すると2名増加している。継続して、資格取得の意義をしっかりと説明して合格率向上に努めていきたい。

進路状況について今年度948社から求人票をいただいた。就職希望者のうち、第一希望の企業内定率は92.2%であり昨年度とほぼ横ばいであった。県内就職状況も22%であり、昨年度より3ポイント減少した。今年度は県内企業理解を目的として、2年生の生徒と保護者を対象に県内企業説明会の実施や「地元企業情報」(8号)を作成し全生徒へ配付した。入学段階より明確な進路意識を持って入学する生徒が多く、依然として保護者本人の希望として県外就職が高い状況にある。また、進学は46名、公務員は5名であった。

【心と体を育てる】

人権学習の内容は、いじめ、ネット上のいじめ、偏見や差別、部落差別、進路保障に係る内容を各学年ごとに学期1回行った。いじめはどこでも起こりうることを認識して、迅速な対応を全職員でしていく。

運動系、文化系、技術系合わせて28の部そして1つの同好会が活動している。そのなかで、今年度も多くの部活動が県内各種大会において上位の成績を上げることができた。特に、少林寺拳法部は全国高校総体団体演武で優勝、野球部は夏の甲子園予選で県3位であった。建設技術部は全国ものづくりコンテスト測量部門で第3位、化学技術部は、大淀川の水質検査を定期に行っており、全国ユース環境活動大会九州大会優秀賞を獲得した。

【信頼される学校】

都工新聞(学校PR新聞)を3回発行して都城、三股地区の中学校に配布してきた。内容は、資格取得、部活動の活動状況、進路状況など本校の学校生活の様子が伝わるコンセプトで構成しており、「中学生が行きたい、保護者が行かせたい」を意識した紙面作りを行っている。また、4中学校、1小学校における出前授業は毎年好評である。

地域活動の貢献では、「ふれあい五十市文化祭」への参加。西都城駅イルミネーション設置を行っている。特に、イベントにおいて吹奏楽部は、質の高い地域での演奏会を行っている。

関係団体との連携として警察機関を利用した交通教室、共生をテーマに人権教育、選挙管理委員会からの主権者教育の研修など実施した。